

調査レポート

令和2年度 福井県賃金実態調査 No.2

～年間賃金編（福井県実在勤労者賃金）～

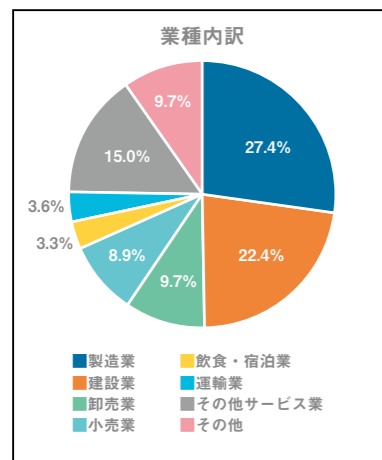
表2 年齢間比較（25歳～30歳=100）（単位：％）

年齢層	大学・大学院卒					短大・専門学校卒					高校卒				
	全体平均	総務・企画広報	営業・販売	製造・技術	一般事務・その他	全体平均	総務・企画広報	営業・販売	製造・技術	一般事務・その他	全体平均	総務・企画広報	営業・販売	製造・技術	一般事務・その他
24歳以下	77.2	69.0	76.7	76.4	77.6	84.1	89.3	91.6	82.5	84.3	85.3	82.4	86.7	83.4	90.3
25歳～30歳	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
31歳～35歳	120.4	121.1	123.5	119.0	117.8	114.8	127.1	116.1	115.0	109.2	113.0	120.5	111.1	113.4	113.8
36歳～40歳	138.3	131.6	139.6	139.2	137.3	124.5	120.3	127.0	124.2	123.3	122.1	133.0	128.0	121.4	117.6
41歳～45歳	146.6	143.6	149.4	147.2	143.6	132.5	129.6	149.5	138.3	122.0	133.0	146.6	143.6	132.6	127.0
46歳～50歳	167.2	195.6	176.6	162.6	152.9	144.6	146.1	153.1	148.4	137.8	135.6	147.2	149.4	133.9	132.4
51歳～55歳	180.5	198.4	177.0	179.1	183.7	142.0	153.0	168.8	139.4	134.2	140.1	167.8	154.0	139.3	137.6
56歳～60歳	179.2	217.1	180.5	169.6	182.4	146.8	166.4	178.0	148.5	140.4	137.1	162.5	160.7	130.3	137.1

表3 学歴・勤続年数・採用形態別平均賃金（単位：円）

勤続年数	大学・大学院卒		短大・専門学校卒		高校卒	
	新規学卒者	中途採用者	新規学卒者	中途採用者	新規学卒者	中途採用者
5年以下	3,257,100	4,002,769	2,932,276	3,313,735	2,826,600	3,344,431
6年～10年	4,393,903	4,722,031	3,880,927	3,795,618	3,448,586	3,838,650
11年～15年	5,145,228	5,309,456	4,355,688	4,251,479	3,954,776	4,232,701
16年～20年	5,653,992	5,585,397	4,770,420	4,530,295	4,459,062	4,337,808
21年～25年	6,569,627	6,028,244	5,188,459	5,037,258	4,984,524	4,909,426
26年～30年	7,626,750	6,064,256	5,652,263	5,236,571	5,280,862	5,136,564
31年～35年	7,545,703	7,126,961	6,410,082	5,082,938	5,760,430	5,079,846
36年～40年	7,296,309	6,321,793	6,922,606	5,882,319	6,046,736	5,331,329
41年以上	-	-	-	-	5,813,160	-

※集計対象者がいない項目やサンプル数が少なかったため集計ができなかった項目には「-」を表記

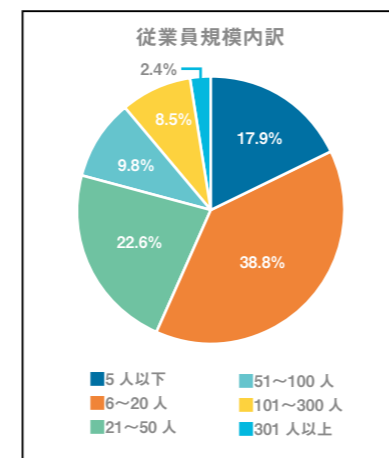


回答企業内訳

- 調査概要
- 期間 令和2年9月1日(火)～10月23日(金)
- 方法 調査票の郵送による照会
- 対象 福井県下3000社の民間企業を無作為抽出
- 回収数 966社(回収率 32.2%)

お問合せ
 福井商工会議所
 創業・経営支援課
0776-33-8283
 詳細の調査結果については、
 上記までお問い合わせ下さい。

※当調査における年間賃金とは、令和元年1月から12月までの1年間に同一企業で継続して勤務した労働者のうち、各種条件に該当する者の「源泉徴収票」に記載された支払金額より算出。
 ※支払金額とは、毎月の所定労働時間内給与に超過勤務手当、休日出勤手当などの諸手当、および賞与などの臨時給与を加えたものを指す。



中途採用者の即戦力評価を賃金に反映

新規学卒者と中途採用者に分けて賃金を比較したところ、表3の通りとなった。
 入社当初は中途採用者の年間賃金が高くなっているが、勤続年数が長くなると、中途採用者の年間賃金が新卒者と同程度になる。

表1 学歴・年齢・職種別平均賃金

学歴	年齢	勤続年数(年)	扶養家族(人)	年間賃金(円)	左のうち年間賞与(円)	賞与/年収(%)
大学・大学院卒	25歳～30歳	4.1	0.2	3,592,160 (3,531,063)	698,131	19.4
	31歳～35歳	7.6	0.8	4,323,964 (4,233,445)	868,356	20.1
	36歳～40歳	11.0	1.3	4,967,310 (4,694,786)	1,035,263	20.8
	41歳～45歳	14.1	1.4	5,265,838 (5,259,141)	1,067,839	20.3
	46歳～50歳	17.5	1.4	6,005,615 (5,807,598)	1,292,786	21.5
	51歳～55歳	19.7	1.3	6,483,899 (6,025,141)	1,410,601	21.8
短大・専門学校卒	56歳～60歳	22.6	0.9	6,437,803 (6,290,836)	1,355,242	21.1
	24歳以下	2.5	0.0	2,782,041 (2,589,811)	501,083	18.0
	25歳～30歳	5.0	0.3	3,308,894 (3,187,760)	614,042	18.6
	31歳～35歳	8.2	0.8	3,799,818 (3,646,519)	705,892	18.6
	36歳～40歳	11.2	0.9	4,120,798 (3,946,688)	763,446	18.5
	41歳～45歳	14.0	1.0	4,383,394 (4,284,863)	865,669	19.7
	46歳～50歳	17.6	0.9	4,785,708 (4,658,241)	959,438	20.0
高校卒	51歳～55歳	18.1	0.7	4,697,465 (4,606,535)	915,141	19.5
	56歳～60歳	21.6	0.5	4,857,426 (4,823,436)	910,692	18.7
	24歳以下	3.1	0.1	2,835,583 (2,734,008)	509,327	18.0
	25歳～30歳	6.0	0.4	3,325,319 (3,297,226)	561,372	16.9
	31歳～35歳	9.1	0.8	3,758,346 (3,681,108)	672,944	17.9
	36歳～40歳	11.2	1.1	4,059,153 (4,060,113)	714,600	17.6
	41歳～45歳	14.2	1.2	4,422,809 (4,264,286)	789,200	17.8
46歳～50歳	16.3	0.9	4,507,908 (4,502,183)	797,459	17.7	
51歳～55歳	20.1	0.7	4,657,170 (4,596,316)	841,947	18.1	
56歳～60歳	22.2	0.6	4,557,545 (4,348,246)	811,333	17.8	

(カッコ内は平成30年度調査時の数字)

年間平均賃金※の調査結果は表1の通りである。
 24歳以下の時点では「高校卒」の年間賃金が最も高い。ただし、年齢を重ねるごとに「大学・大学院卒」「短大・専門学校卒」が上回るようになり、特に「大学・大学院卒」と「高校卒」は41～45歳の時点で約80万円(表

令和元年度年間平均賃金はほぼ全ての学歴・年齢で上昇

1赤囲い参照)、56～60歳の時点で約190万円の差(表1青囲い参照)が生じている。
 前回(平成30年度)調査結果と比較したところ、ほぼ全ての学歴・年齢区分において上回る結果となった。
 また、年間賃金を全国平均値と比較したところ、「大学・大学院卒」では「31歳以上」で全国平均値を上回る結果となった。賞与の割合は、全国平均値と比較すると、「大学・大学院卒」

では「31歳以上」、「東京」「大阪」等都市部では「41歳以上」において下回った。
 続いて、25歳～30歳を基準とした年齢間の比較結果は表2の通りである。学歴が高いほど、年間賃金の上昇率が高い傾向にある。最も上昇率が高いのは、「大学・大学院卒」の「総務・企画広報」で、217.1%となった。前回調査においても、学歴・職種別で同じような傾向が見られた。